【部課名： 保険福祉部高齢介護課　　】

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
独居高齢者等見守り事業	高齢化が進み、また、地域住民同士のつながりも希薄化する中、孤立死といった事案の発生を予防し、支援を要する高齢者等の状況をできるだけ早期に発見し、適切な支援に繋げることを目的とする。 本人同意のあった75歳以上のひとり暮らし高齢者の名簿を民生委員・児童委員へ提供し、民生委員による見守り訪問等を支援するとともに、地域の実態把握に努める。	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 高齢者が安心して自分らしく暮らせるまちだと思う市民の割合 / 55.2% / 50.2% 地域包括支援センターへの相談件数 / 1555件 / 1661件	ひとり暮らしの高齢者への見守り訪問等を通して、高齢者からの相談に対し、必要な支援を受けることができるよう、民生委員・児童委員が行政や専門機関等につないでおり、課題の解決が図られている。	70歳以上の高齢者の増加に伴い、見守り訪問の希望者の増加が想定されることから、民生委員・児童委員が適切に見守り活動ができるよう、令和7年度から訪問対象を75歳以上に変更した。（75歳未満で希望する人については個別対応とした。）また、高齢者の見守り活動については、他の福祉関係団体との連携を図る必要がある。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち
個別目標の方向性	地域包括ケアシステムの深化・推進により高齢者の自分らしい生活を支援します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	375	（ 375 ）
R7決算見込額	76	（ 76 ）
R8予算額	471	（ 471 ）

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
包括的相談支援事業	介護、障がい、子ども、困窮の分野における相談業務を一体的に行うことで、対象者の属性を問わず、包括的に相談を受け止めることで必要な支援ができる。	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 高齢者が安心して自分らしく暮らせるまちだと思う市民の割合 / 55.2% / 50.2% 地域包括支援センターへの相談件数 / 1555件 / 1661件	地域住民が抱える課題が複雑化・複合化する中で、従来の属性別の支援体制では、それぞれのニーズへの対応が困難である。地域包括支援センターの運営委託を通じて、介護、障がい、子ども、困窮の分野における相談支援業務を一体として実施し、地域生活課題を抱える地域住民及びその世帯の属性に関わらず、包括的に相談に対応する。	地域包括支援センターと密な連携をとり、地域課題の解決や重層的な支援を実施していく必要がある。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち
個別目標の方向性	地域包括ケアシステムの深化・推進により高齢者の自分らしい生活を支援します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額		（ ）
R7決算見込額	51,817	(29,605)
R8予算額	57,538	(46,463)

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
地域づくり事業	介護、障がい、子ども、困窮の分野における地域づくりを一体的に行うことにより、地域住民が地域社会に参加する機会を確保するための支援や地域住民相互の交流の拠点の開設に向けた取組を行う。	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 要介護認定を受けていない高齢者の割合 / 80.2% / 78.5% 介護予防事業への参加人数 / 5818人 / 9475人	地域介護予防活動講師謝礼は、高齢者の自主サークルへの運動継続支援として運動指導士の派遣を行い、介護予防活動と地域づくりの推進を図る。	地域包括支援センターと密な連携をとり、地域課題の解決や重層的な支援を実施していく必要がある

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち
個別目標の方向性	高齢者が元気に日々を送れるよう健康・介護予防・社会参加への主体的な取組を支援します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額		（ ）
R7決算見込額	14,483	(9,550)
R8予算額	18,391	(15,073)

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
長寿祝品配布事業 総合計画の位置づけ 基本目標：みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち 個別目標：高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち 個別目標の方向性：高齢者が元気に日々を送れるよう健康・介護予防・社会参加への主体的な取組を支援します	人生の節目に達した高齢者に祝品を贈呈することにより、長寿を祝い、高齢者の生きがいづくりに寄与することを目的とする。９月の敬老月間に合わせ、人生の節目（８８歳（米寿祝品）、１００歳長寿祝品、最高齢者祝品）に達した高齢者に祝品を贈呈する。また、８０歳以上の希望者には随時祝品を贈呈する。 事業費（うち市負担額）【千円】 R6決算額 2,603 （ 2,603 ） R7決算見込額 2,985 （ 2,985 ） R8予算額 4,283 （ 4,283 ）	指標：要介護認定を受けていない高齢者の割合 / 総計の現状値：80.2% / R7実績値：78.5% 指標：介護予防事業への参加人数 / 総計の現状値：5818人 / R7実績値：9475人	対象者に祝品を贈呈することで、敬老の意を表するとともに、介護予防の啓発を図ることができた。	高齢者人口の増加に伴い、対象者数も年々増加傾向にあり、事業費が拡大している。今後、高齢者のニーズを踏まえ、祝品の内容を検討していく必要がある。
事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
介護予防生活支援事業 （独居老人等緊急通報装置設置運営事業） 総合計画の位置づけ 基本目標：みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち 個別目標：高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち 個別目標の方向性：地域包括ケアシステムの深化・推進により高齢者の自分らしい生活を支援します	ひとり暮らし高齢者等に対し、緊急通報装置を貸与することにより急病等の緊急事態に対応し、緊急時の不安軽減を図るとともに、緊急通報装置協力員をはじめとする地域住民の理解と協力により高齢者等が住み慣れた地域社会の中で引き続き生活していくことを支援することを目的とする。高齢者等の自宅に緊急通報装置を設置し、２４時間体制で緊急通報センターとの通信連絡体制を確保し、急病等の緊急時においては、本人に代わり緊急連絡先に連絡を行う。また、対象者の身体状況等の相談に応じ、迅速かつ適切なアドバイスを行う。 事業費（うち市負担額）【千円】 R6決算額 3,024 （ 3,024 ） R7決算見込額 2,763 （ 2,763 ） R8予算額 3,485 （ 3,485 ）	指標：高齢者が安心して自分らしく暮らせるまちだと思う市民の割合 / 総計の現状値：55.2% / R7実績値：50.2% 指標：地域包括支援センターへの相談件数 / 総計の現状値：1555件 / R7実績値：1661件	緊急時におけるひとり暮らし高齢者の不安感を解消することができた。また、緊急時に通報装置を使用することで、救急車要請等の迅速な対応により大事に至らなかった例も報告されている。	固定電話（ＮＴＴアナログ回線）を使用しているが、固定電話を持たない高齢者がいることから、事業内容についての再検討が必要である。
事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
介護予防生活支援事業 （高齢者等配食サービス事業） 総合計画の位置づけ 基本目標：みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち 個別目標：高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち 個別目標の方向性：地域包括ケアシステムの深化・推進により高齢者の自分らしい生活を支援します	在宅の高齢者等に対し、配食サービスの提供を行うことにより、自立と生活の向上を図るとともに、配食サービスの訪問時に利用者の安否確認や孤独感の解消を図り、高齢者等の福祉の増進に寄与することを目的とする。高齢者等に適した内容で栄養バランスの取れた食事を利用者宅へ配達するとともに、訪問の際、直接手渡しすることで安否確認を行い、健康状態に異常があった場合には、関係機関への連絡等を行う。配食は、１日夕食の１食、週５回を限度とし、１食あたり利用者負担３７０円で提供を行う。 事業費（うち市負担額）【千円】 R6決算額 14,955 (6,685) R7決算見込額 15,206 (6,470) R8予算額 15,125 （ ）	指標：高齢者が安心して自分らしく暮らせるまちだと思う市民の割合 / 総計の現状値：55.2% / R7実績値：50.2% 指標：地域包括支援センターへの相談件数 / 総計の現状値：1555件 / R7実績値：1661件	規則的な食事作りが困難な高齢者等に温かい夕食を宅配し、栄養バランスの取れた食生活が確保できたことにより、高齢者の在宅福祉の向上を図ることができた。また、配食時における安否確認等により、高齢者等の健康・福祉の増進に寄与している。	安否確認のための緊急連絡先となり得る人が居ない対象者についての対応を検討する必要がある。

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
街かどデイハウス支援事業	高齢者が住み慣れた地域で暮らして行くことができるよう、介護予防や自立生活へつながる柔軟できめ細かなサービスを提供する住民主体の任意団体である街かどデイハウスを支援し、在宅高齢者の保健福祉の向上に資することを目的とする。 介護保険制度の要支援・要介護認定を受けていない、概ね６５歳以上の在宅高齢者等に対し、自立した生活を継続することができるよう、通所により介護予防に資するサービスを提供する住民参加型非営利団体への支援を行う。	指標	総計の現状値	R7実績値	高齢者が自立した生活を維持し、閉じこもりを防ぐことなど介護予防の身近な地域拠点として大きな役割を担っている。	住民主体の非営利団体であるため、運営スタッフの高齢化・後継者不足等に課題がある。
総合計画の位置づけ		要介護認定を受けていない高齢者の割合	80.2%	78.5%		
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち	介護予防事業への参加人数	5818人	9475人		
個別目標	高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち					
個別目標の方向性	高齢者が元気に日々を送れるよう健康・介護予防・社会参加への主体的な取組を支援します					

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	11,709	（　　）
R7決算見込額	11,763	（　　）
R8予算額	12,010	（　　）

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
家族介護支援特別事業	在宅でおむつを常用している高齢者（要介護３～５）または重度障がい者（身体障害者手帳１級及び２級、療育手帳A等）に介護用品を給付することにより家庭の経済的負担及び介護する家族の身体的・精神的負担を軽減するとともに、要介護者の在宅生活の継続・向上による保険福祉の増進を図ることを目的とする。 市民税が非課税又は均等割課税の世帯で、おむつを常用している在宅の高齢者等に介護用品を給付する。	指標	総計の現状値	R7実績値	おむつ等の介護用品を給付することにより、在宅で介護している家族の経済的負担を軽減し、在宅生活の支援をできた。 （令和6年5月から1か月の給付額を4,000円へ見直した。）	使用する介護用品のニーズは多様であることから、引き続き利用者のニーズを把握し、在宅で介護をしている家族の負担軽減に努める。
総合計画の位置づけ		高齢者が安心して自分らしく暮らせるまちだと思う市民の割合	55.2%	50.2%		
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち	地域包括支援センターへの相談件数	1555件	1661件		
個別目標	高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち					
個別目標の方向性	地域包括ケアシステムの深化・推進により高齢者の自分らしい生活を支援します					

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	12,982	（　　）
R7決算見込額	14,335	（　　）
R8予算額	15,840	（　　）

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
金婚祝賀事業	夫婦の長寿・健康保持を祝福するとともに、高齢者の生きがい、交流の場づくりを行い高齢者福祉の増進を図ることを目的とする。 金婚（結婚５０年）を迎えた夫婦を祝し、祝賀会及び記念写真撮影を行う。	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 要介護認定を受けていない高齢者の割合 / 80.2% / 78.5% 介護予防事業への参加人数 / 5818人 / 9475人	夫婦の長寿と婚姻関係の永続を祝うとともに、自らの健康保持への意欲を高める上で、高齢者福祉の増進を図ることができた。	夫婦の形が多様化していく中、市として祝意を示すのが公平性の観点から妥当かどうか検討する必要がある。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち
個別目標の方向性	高齢者が元気に日々を送れるよう健康・介護予防・社会参加への主体的な取組を支援します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	481	（ 481 ）
R7決算見込額	557	（ 557 ）
R8予算額	921	（ 921 ）

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
見守りSOS事業	認知症高齢者等が行方不明となった場合に、地域の支援を得て早期に発見できるよう、関係機関等の支援体制を構築し、高齢者等の安全と家族への支援を目的とする。 事前登録された行方不明となるおそれのある認知症高齢者等について、支援要請があった場合、協力関係機関等に連絡を行い、早期発見に向けた支援を行う。（夜間・土日の対応については市内の社会福祉法人へ委託）	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 認知症検診受診人数 / 183人 / 280人 認知症サポーターの登録人数 / 12332人 / 14260人	地域との連携を図ることにより、行方不明となるおそれのある高齢者等やその家族への支援体制を構築することで、早期発見につながり、地域福祉の推進に大きく寄与している。また、認知症への正しい理解にもつながっている。	事業に対する理解、周知が十分ではなく、引き続き啓発等が必要である。また、関係機関との連絡方法はFAXのみであるが、メールなども含めた連絡方法等の検討も必要である。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち
個別目標の方向性	認知症予防に取り組み認知症になっても高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせるよう支援します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	39	（ 39 ）
R7決算見込額	1,014	（ 1,014 ）
R8予算額	294	（ 294 ）

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
訪問理美容サービス利用助成事業	在宅で生活している外出が困難な高齢者に対し、自宅において理美容サービスを提供することによって、在宅高齢者の生活衛生の向上及び福祉の増進を図ることを目的とする。 在宅で生活している外出困難な高齢者の自宅をあらかじめ登録している、協力理美容店の利用又は美容師が訪問し、理美容サービスを提供する。その訪問費用の一部となる１回２，０００円を助成する。	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 高齢者が安心して自分らしく暮らせるまちだと思う市民の割合 / 55.2% / 50.2% 地域包括支援センターへの相談件数 / 1555件 / 1661件	在宅で外出できない高齢者の自宅を訪問し、理容又は美容サービスを提供することで高齢者の衛生面の向上に寄与している。	必要な人が利用できるよう、引き続き制度の周知に努める。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち
個別目標の方向性	地域包括ケアシステムの深化・推進により高齢者の自分らしい生活を支援します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	100	（ 100 ）
R7決算見込額	102	（ 102 ）
R8予算額	430	（ 430 ）

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
補聴器購入費用助成事業	難聴による閉じこもりを予防し、積極的な社会参加及び地域交流を促進することで認知症を予防し、健康増進に資することを目的とする。 ５０歳以上の市民で、聴覚障害による身体障害者手帳の交付を受けていない、両耳の聴力レベルがそれぞれ４０デシベル以上の人で、医師が補聴器装用を必要と認めた人が、管理医療機器として認定された補聴器を購入した場合、その費用の一部を助成する。助成額は、生活保護世帯・市民税非課税世帯は購入費の２分の１、上限５０，０００円、市民税課税世帯は、購入費の４分の１、上限２５，０００円となる。	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 認知症検診受診人数 / 183人 / 280人 認知症サポーターの登録人数 / 12332人 / 14260人	制度を利用し、補聴器を装用することで、人とのコミュニケーションが取れるようになった等、地域での社会参加の促進に寄与している。	事業開始から２年で利用者数の目標を達成している状況ではあるが、市民の事業への認知をさらに高めるため、周知方法を検討する。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち
個別目標の方向性	認知症予防に取り組み認知症になっても高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせるよう支援します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	2,506	（ 2,506 ）
R7決算見込額	1,964	（ 1,964 ）
R8予算額	3,690	（ 3,690 ）

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
高齢者緊急一時避難支援事業	保護者、養護者若しくは配偶者又はこれらの者以外の同居人から虐待や暴力被害、または重度の認知症等により身元判明までに時間を要する高齢者の緊急時における安全確保のための支援を行うことを目的とする。 一時避難が必要となった際に必要となる宿泊費等を支給する。	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 高齢者が安心して自分らしく暮らせるまちだと思う市民の割合 / 55.2% / 50.2% 地域包括支援センターへの相談件数 / 1555件 / 1661件	安全確保が必要な高齢者等を慎重かつ迅速に一時的に避難させることにより、身辺の安全を確保することができた。	安全確保や保護が必要な場合においては、慎重かつ迅速に対応をする必要があるため、研修等による職員の知識、対応力の向上や関係機関との連携強化に努める。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち
個別目標の方向性	地域包括ケアシステムの深化・推進により高齢者の自分らしい生活を支援します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	0	（ 0 ）
R7決算見込額	63	（ 63 ）
R8予算額	640	（ 640 ）

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
高齢者介護予防事業	保健師、看護師などの専門職種による一般介護予防事業を通じて、高齢者が要介護状態となることを予防するとともに、要介護状態になった場合においても。可能な限り、住み慣れた場所で自立した生活ができるように支援することを目的とする。 ７５歳の介護保険未利用者に訪問し社会資源の情報提供を行う介護予防把握事業、介護予防活動の普及・啓発を目的に運動講座等を実施する介護予防普及啓発事業、地域における介護予防の取組強化のためリハビリ専門職による支援を提供する地域リハビリテーション活動支援事業の3つの事業が中心となる。	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 要介護認定を受けていない高齢者の割合 / 80.2% / 78.5% 介護予防事業への参加人数 / 5818人 / 9475人	日常生活の中で介護予防に取組みやすくなるよう事業展開しており、高齢者の身近な通いの場としての利用もされており、社会参加の支援にも繋がっている。	講座やサークルへの参加者が固定されているため、新規参加者を増やすための取組を検討する必要がある。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち
個別目標の方向性	高齢者が元気に日々を送れるよう健康・介護予防・社会参加への主体的な取組を支援します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	13,131	（ ）
R7決算見込額	15,041	（ ）
R8予算額	19,157	（ ）

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
あしゆびプロジェクト事業（高齢介護課） 総合計画の位置づけ 基本目標：みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち 個別目標：高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち 個別目標の方向性：高齢者が元気に日々を送れるよう健康・介護予防・社会参加への主体的な取組を支援します	高齢者の多くは、あしゆびに何らかの異常を抱えており、バランスがとりづらく、転倒の原因となっている。介護予防の一環として、あしゆびセルフケア・あしゆび運動・あしゆび体幹運動などを普及啓発し、高齢者の体幹機能やバランス機能を向上されることにより転倒を予防し、健康寿命の延伸を図ることを目的とする。 あしゆびについてのセルフケアやおづみんあしゆび体操等の普及啓発やあしゆびと体幹機能の強化を図るため、体幹バランストレーニングを取入れた運動講座等を開催する。 事業費（うち市負担額）【千円】 R6決算額 5,101 （ ） R7決算見込額 4,968 （ ） R8予算額 5,221 （ ）	指標：要介護認定を受けていない高齢者の割合 / 総計の現状値：80.2% / R7実績値：78.5% 指標：介護予防事業への参加人数 / 総計の現状値：5818人 / R7実績値：9475人	あしゆびセルフケアを実践している人が多く、あしゆび体操は一定、普及・浸透しており、普及啓発においては成果は上がっている。	健康寿命の延伸には、日常的な運動が重要であることから、あしゆびセルフケアやあしゆび体操については、引き続き普及啓発が必要である。また、運動の効果検証を行い、その結果を広く市民に周知・公表することも必要である。
事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
認知症検診事業 総合計画の位置づけ 基本目標：みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち 個別目標：高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち 個別目標の方向性：認知症予防に取り組み認知症になっても高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせるよう支援します	認知症の早期発見と適切な医療等へつなぐなどの対応を進めることにより、高齢者の健康維持に寄与することを目的とする。 ６５歳以上の市民で認知症の治療又は診断を受けていない人を対象に、年１回無料にて、市内の認知症サポート医のいる医療機関にて、認知症検査（認知症簡易検査）を実施する。 事業費（うち市負担額）【千円】 R6決算額 1,124 （ ） R7決算見込額 1,159 （ ） R8予算額 1,904 （ ）	指標：認知症検診受診人数 / 総計の現状値：183人 / R7実績値：280人 指標：認知症サポーターの登録人数 / 総計の現状値：12332人 / R7実績値：14260人	受診により、認知症の疑いやMCI（軽度認知障害）の早期発見、早期対応ができている。受診後のフォローとして、支援を希望する方には、保健師等が自宅を訪問し、健康指導等を行うことにより、認知症予防に取り組んでいる。また、認知症サポート医が検診を実施するため、必要な方を適切に医療につなげることができている。	より多くの市民に検診を受診していただくため、制度の周知方法について引き続き検討が必要である。
事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
介護給付等費用適正化事業（任意事業） 総合計画の位置づけ 基本目標：みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち 個別目標：高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち 個別目標の方向性：地域包括ケアシステムの深化・推進により高齢者の自分らしい生活を支援します	認定調査状況チェック、ケアプラン等の点検、介護サービス事業者等への適正化支援を通じて、利用者に適切なサービスを提供できる環境の整備を図るとともに、介護給付等に要する費用の適正化のための事業を実施する。 事業費（うち市負担額）【千円】 R6決算額 20,534 （ ） R7決算見込額 17,579 （ ） R8予算額 18,239 （ ）	指標：高齢者が安心して自分らしく暮らせるまちだと思う市民の割合 / 総計の現状値：55.2% / R7実績値：50.2% 指標：地域包括支援センターへの相談件数 / 総計の現状値：1555件 / R7実績値：1661件	必要に応じて事業所への照会等を行い、介護給付等費用の適正化をすすめることができた。	介護給付適正化をより一層推進するとともに、介護サービスの質の向上を図り、利用者に対して適切なサービスが提供されるよう介護サービス事業者への指導や助言、情報提供を行う。

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
介護サービスの質の向上に資する事業（任意事業）	市に登録している介護サービス相談員が、特養・老健などの施設を訪問し、サービス利用者からの相談を受け、利用者の疑問や不安の解消を図るとともに、派遣を受けた施設における介護サービスの質的な向上を図る。	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 高齢者が安心して自分らしく暮らせるまちだと思う市民の割合 / 55.2% / 50.2% 地域包括支援センターへの相談件数 / 1555件 / 1661件	介護施設８カ所に定期的に訪問するとともに、情報共有のための介護相談員会議を月１回実施し、利用者の疑問や不安の解消、派遣を受けた施設における介護サービスの質的な向上を図ることができた。	引き続き相談員の派遣を行うことで、問題点の解消や介護サービスの質の向上を図る。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	高齢者が生きがいを持ち安心して健やかに暮らせるまち
個別目標の方向性	地域包括ケアシステムの深化・推進により高齢者の自分らしい生活を支援します

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	297	（　　）
R7決算見込額	194	（　　）
R8予算額	548	（　　）